

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 小川 耕 示
幹事 丹羽 克 誌
会報委員長 石川 友 美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3199回例会プログラム

〔当年度=38回目；当月=1週目〕

2023年（令和5年）6月5日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 会長挨拶並びに会長報告
8. RYLA セミナー報告……かわい ひろまさ川合 弘将 様
たきもと しょうた瀧本 翔太 様
9. 退会会員挨拶……加藤 正則 会員
10. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
11. 幹事報告
12. 副幹事報告
13. 出席報告
14. 委員会報告
15. ニコニコボックス報告
16. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/12) ……クラブ協議会
次年度委員会別事業計画の検討
(6/19) ……クラブ協議会
現理事挨拶

13:00 17. 本日のプログラム

卓話 「刈谷市と民間企業の連携～
ゼロカーボンシティとスマートシティ」
講師 刈谷市環境推進課
環境政策係長 なみきり たいよう波切 太洋 様
刈谷市企画政策課
みらい共創係長 みうら かずまさ三浦 一将 様
(紹介者 寺田 博正 会員)

18. 謝 辞

19. 点 鐘……〈会 長〉

20. 閉会宣言

13:30 21. 散 会

出 席

会員総数 96名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠 席 3名 出席率 96.55%
前々回（5/22）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 刈谷市よりロータリー文庫の拡充のお礼文が届きました。
- 2) 5月24日(木)刈谷市総合文化センターにて執り行われました、令和5年度刈谷市総合式典に参加してまいりました。
- 3) 5月26日(金)国際交流協会に行き、刈谷ロータリークラブ寄贈の絵本と漫画等の視察と、タイ語に翻訳された日本の大人気漫画を寄贈してまいりました。



幹 事 報 告

- 1) 今月のロータリーレートは1\$ 140円となりました。
- 2) 菊地康英会員、丹羽基実会員が退会され、会員数を96名と訂正いたします。
- 3) 深谷稔彦さんの奥様が、49日法要を執り行うことができましたとご挨拶におみえになりました。おせんべい1枚ですが、お召し上がりくださいとのことでした。

副幹事報告

1) 次年度の手帳の原稿をまわしますのでご覧頂き、訂正のない方は写真の下にOKを記入、ある方は訂正をお願いします。

会長あいさつ

小川 耕示



6月はロータリー親睦活動月間です。ロータリーの親睦と言えばクラブ内での交流を図るのが一般的ですが、国際ロータリーでは、クラブ内、地区内にとどまらず全世界レベルで100以上の親睦活動グループが作られています。刈谷ロータリーには、ゴルフ、囲碁、バンドと3つの同好会が有りますが、RIには、それらに相当するゴルフ、囲碁、音楽の親睦活動グループが有ります。ゴルフ親睦活動グループは1964年にセントアンドリュースで設立されているので歴史あるグループです。ロータリー囲碁同好会は、2000年に日本、韓国、台湾、ハワイで結成され全国囲碁大会と国際大会が毎年開催されています。音楽は2007年、カリフォルニアに設立されました。プロの音楽家からアマチュアミュージシャンが参加しロータリーの行事でパフォーマンスしているようです。直近の親睦活動はゴルフの世界チャンピオンシップが7月にローマで開催される予定です。

RYLA セミナー報告



川合 弘将 様・瀧本 翔太 様

退会会員あいさつ



加藤 正則 会員

還暦のお祝い



磯部 一智 会員

お祝い

6月の会員の誕生日…池田憲司、下谷敏朗、神野公秀、磯部一智、磯村巖会員。

配偶者の誕生日…太田弘子（保）、橋良国（典子）、嶋津百合子（孝久）、神野弥生（公秀）、角谷典子（広高）、新美愛（大輔）様。

結婚記念日…毛受豊、神野公秀、池田直樹、加藤大志朗、安田奏子、寺田博正、服部智会員。

6月度入会記念日…小林祥浩、杉山欣輝、塚本幸夫、横山宜幸、宮地秀将、新美大輔、滝茂和、横山裕司会員。

「刈谷市と民間企業の連携 ～ゼロカーボンシティとスマートシティ～」

講師 刈谷市環境推進課

環境政策係長 波切 太洋 様

刈谷市企画政策課

みらい共創係長 三浦 一将 様



ゼロカーボンシティは、2050年までにCO₂の排出量実質ゼロを目指す自治体のことをいい、本市は令和4年2月に宣言、カーボンニュートラルの達成に向け各種施策を推進しています。

その1つとして、刈谷知立環境組合クリーンセンターにおける廃棄物を焼却する際の排熱を利用して発電される環境価値の高いエネルギーの地産地消及び地域内での資金循環による経済の活性化を目的に、民間事業者等との共同出資により、刈谷知立みらい電力株式会社を設立、令和5年7月からの電力供給開始を予定しています。さらに新電力会社が得た利益は市に寄附され、その寄附金を用いた環境施策やその他事業への活用を想定しています。

刈谷知立みらい電力株式会社を基盤に、市内の卒FIT電源の調達や公共施設を活用した太陽光発電設備の導入の検討を進め、再生可能エネルギーの利用拡大を図り、市域の脱炭素化を推進し、持続可能な社会の構築を目指します。

また、スマートシティは、先端技術により、あらゆる都市機能やサービスが「スマート」に提供され、生活をもっと便利に、もっと快適に、を目指す取組です。

推進体制は、本社を構えるトヨタグループ6社、JR東海、名鉄、NTTグループ2社、刈谷豊田総合病院、愛知県、刈谷市の13団体でスタートし、現在は、電気ガス事業者2社、角文(株)、中央コンサルタンツ(株)、刈谷商工会議所を加えた18団体。

これまで、幼稚園バス置き去り防止システム、交差点の歩行者情報をドライバーへ通知するシステム、救急現場のリアルタイム映像配信、リモート診療、介護用パワーアシストスーツなどの実証を行ってきました。

今年度から、まちの課題を先端技術で解決する実証として課題解決型実証プロジェクトの募集を開始しました。この取組を軌道に乗せ、早期の社会実装や課題解決へ繋げていくとともに、民間技術の実証フィールドとして刈谷のまちを提供し、スマートシティを推進していきます。

